



ALSOプロバイダーコース

～愛仁会千船病院～



Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利は**American Academy of Family Physicians(AAFP-米国家家庭医学会)**によって認可され、現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、63カ国、16万人以上がALSOコースを完了した。

プロバイダーコースは二日間で行われる。コースの内容は、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースに含まれている。ALSOは分娩室における産科の救急的対処や医療安全を強調している。必須学習内容はマタニティケアにおける安全性、難産、妊娠初期の合併症、妊娠の内科的合併症、早産と前期破水、妊娠後期の性器出血と、症例検討を含む分娩中の胎児監視、妊娠の内科的合併症、そして(以下少人数グループによる実技トレーニングを含む)肩甲難産、補助経膈分娩、骨盤位分娩、分娩後大出血、妊婦の心肺停止である。またコースによっては、オプションル・ワークショップとして会陰縫合、超音波検査、出産危機への対処などが追加される。**プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合受講者はAAFPの認定する3年間有効の認証を受けることができる。**また、プロバイダーコースの講師になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、全国38の都道府県でコースが開催され、12,191名(2024年03月31日時点)がコースを修了した。参加者は産婦人科医、助産師だけでなく、プライマリケア医、救急医、麻酔科医、小児科医や他科医師、研修医、そして医学生などであり、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけで維持し続けることが難しい状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域で産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちが教育を受けられる場所を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOである。

ALSO-Japan事業執行部

第14回千船 ALSO プロバイダーコース
受講申し込み

主 催:社会医療法人愛仁会千船病院
共 催:NPO法人 周生期医療支援機構(OPPIC)
場 所:愛仁会千船病院 9F研修室(大阪市西淀川区福町3丁目2番39号)
<https://www.chibune.aijinkai.or.jp/>
日 程:2024年08月17日(土)、18日(日) ※2日間コースです
定 員:30名 (近畿地方の方を優先いたします) ※先着順ではありません
受講料:40,000円 ※支払方法は受講可否とあわせて通知します。
※振り込まれた受講料は、コース開催中止時を除き、返金できません。

COVID-19等の感染拡大状況により開催が中止または延期となることがあります。
感染対策を実施しながらの開催となりますので、ご協力ください。

●申込方法

受講予定のコースの下記URL(Google form)またはQRコードよりお申込みください。

受講申込: <https://forms.gle/yRGQagunfJTvf2wZ8>



記入事項不備の場合は申込みを受理できません。お申込み後に自動返信メールを送信致します。自動返信メールが届かない場合は、申込みが完了していない可能性がありますので、再度入力して頂くか、下記までお問い合わせください。

●**受講希望申込期間:2024年05月20日(月)00:00~2024年06月02日(日)23:59まで**

06月03日~13日の間に受講可否をご連絡いたします。期日を過ぎても受講可否のメールが来ない場合は、下記までメールでお問合せください。

【問い合わせ先】

社会医療法人愛仁会千船病院 産婦人科 岡田十三

E-mail: juzo.okada@gmail.com

第 14 回千船病院 ALSO プロバイダーコース スケジュール ※若干の変更の可能性あります

2024 年 08 月 17 日(土) DAY1

08:40-08:55	受講生受付
09:00-09:10(10分)	オープニング
09:10-10:10(60分)	講義 L: 妊婦ケアにおける安全性
10:10-10:20(10分)	休憩
10:20-12:00(80分)	症例検討(グループディスカッション) E:分娩時胎児監視と症例
12:00-12:10(10分)	休憩
12:10-12:40(30分)	講義 A: 妊娠初期の合併症
12:40-13:25(45分)	ランチ 講義 12:45-13:15(30分) C:妊娠後期の性器出血
13:25-14:25(60分)	実技 H:補助経膈分娩
14:25-14:35(10分)	休憩
14:20-15:10(50分)	実技 I:肩甲難産
15:10-15:20(10分)	休憩
15:20-15:40(20分)	講義 第1印象とプライマリーサーベイ
15:40-17:15(95分)	実技 J:分娩後異常出血 & K:妊婦蘇生
17:15-17:25(10分)	休憩
17:25-18:00(35分)	特別講演:院内助産に関する話題(仮題) 講師:菊地範彦先生(信州大学講師)
18:00-18:20(20分)	1日目クロージング

2024 年 08 月 18 日(土) DAY2

08:00-08:30(30分)	復習・質問コーナー(自由参加)
08:30-08:45(15分)	2日目オープニング
08:45-08:50(5分)	移動
08:50-09:20(30分)	講義 D:早産と前期破水
09:20-09:40(10分)	休憩
09:40-10:10(30分)	講義 F:難産
10:10-10:20(10分)	休憩
10:20-10:45(25分)	実技 G:プレゼンテーション異常・ポジション異常
10:45-11:10(25分)	実技 鉗子分娩&正常分娩介助および休憩
11:10-12:30(80分)	症例検討(グループディスカッション) B:内科的合併症と症例
12:30-13:00(30分)	ランチ
13:00-13:30(30分)	実技等、質問・復習コーナー
13:30-13:40(10分)	写真撮影
13:40-14:00(20分)	クロージング
14:00-16:30(150分)	筆記試験と実技試験 終了後解散

事前学習として下記の e-learning があります。

レクチャー(各約 30 分)	妊娠初期の合併症/妊娠期の内科的合併症/妊娠後期の性器出血/ 早産と前期破水/分娩中の胎児監視/難産/プレゼンテーション異常、 ポジション異常、多胎/補助経腔分娩/肩甲難産/分娩時異常出血/ 母体の心肺蘇生および外傷/マタニティケアの安全性
実技動画	補助経腔分娩/肩甲難産/分娩時異常出血/妊婦蘇生